

「セメント管理」が
ここまで進化？

時代を変える「IoTサイロ」最前線

PR

建設現場の「見えないムダ」を変える

昭和鋼機の 「IoTスマートサイロ」

社会と現場の課題に向き合い「生産現場の困りごと解決」で
成長を続ける便利で万能な設備会社



「セメント残量が分からない」

—そんな「勘頼み」が、
今も建設現場には残っている。

レベルセンサーや打音によって確認を行っていても、「正確な補充タイミングが読みにくい」ため、手配が遅れば材料不足のリスクがあり、一方で早すぎれば移動式サイロに材料が入り切らないこともある。こうした背景から、セメント管理においても、より正確で効率的な運用、さらには「見える化」へのニーズが高まっている。

スマホで「残量管理」

建設現場を変える「IoTスマートサイロ」

昭和鋼機が展開する「IoT スマートサイロ」は、セメント残量や稼働状況をスマートフォンやPCで遠隔確認でき、現場管理の在り方そのものを変えつつある。

「いつ補充すべきか」「どの現場で稼働しているか」をリアルタイムで把握できるため、材料不足による工事停止リスクや、非効率な配送調整を大幅に軽減できる。



IoTスマート サイロの特長



リアルタイム
残量監視

残量を遠隔で可視化し、補充の
タイミングを最適化。



複数現場を
一括管理

スマホやPCで複数拠点の稼働
状況をまとめて把握。



位置情報で
所在管理

GPSでサイロの位置を把握し、
効率的な配置・運用が可能。



データ活用で
生産性向上

蓄積したデータを分析し、現場
の生産性を継続的に改善。

60年以上の歴史、 国内トップシェアの信頼と実績

昭和鋼機株式会社は、堅型移動式サイロのパイオニアとして知られる。設立から60年以上、日本の国土づくりを陰で支えてきた同社は、コンクリートプラント分野を軸に、設備の設計・製造から据付・メンテナンスまでをトータルに展開。セメント・生コン業界から建設業界まで網羅し、インフラ工事や大型施設、国家規模のプロジェクトなど幅広い現場に対応できる一貫体制も信頼を集めている。また、堅型移動式サイロでは国内トップシェアを誇り、現在は、建設DXでも存在感を放つ注目企業だ。近年はAIやロボット事業にも参画。「省人化」「予防保全」「環境問題」といった生産現場の課題解決に取り組みを広げている。



省人化



予防保全



環境問題

経営を支える「人を生かす仕組み」

昭和の高度成長期から令和の現代に至るまで堅実な経営を続けてきた背景には、同社の一貫した人への投資姿勢がある。人材の採用・定着について「共育を重視し、一人ひとりの個性を活かす社風を整備しています」と話すのは、代表の辻孝太郎氏だ。新卒社員には約4か月にわたり各部署を経験しながら、自身に合った仕事を見つける機会を用意。中途社員や既存社員でも随時、適性に応じた配置転換を実施するなどの取り組みは、個人のキャリア形成と企業の競争力強化を両立する姿勢の表れだ。

全国約150万社の上位8%にあたる優良企業にも認定された実績*に裏打ちされた、現場を支える総合力。建設業界では今、人手不足、安全性、物流効率化、環境問題への対応が急務となっている。そうした中、「現場を止めない仕組み」を支える昭和鋼機の技術は、インフラ維持や大型再開発を支える存在として、今後さらに存在感を高めていきそうだ。※TSR調べ



昭和鋼機オリジナルキャラクター



幅広い
現場で
活躍!!

インフラ工事

大型施設建設

再開発プロジェクト

生コンプラント

お問い合わせ 昭和鋼機株式会社
名古屋市千川区篤元町二丁目72番地1
TEL.052-362-8251

